

令和 4 年度包括的支援事業・任意事業実績（中間報告）

1 地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センター運営協議会において報告

2 在宅医療・介護連携推進事業

●在宅医療多職種連携事業

・成年後見制度の実際について地域住民への普及啓発のための講演会を 1 月 29 日に大磯町と合同開催し、111 名が参加。

●在宅医療・介護連携に関する相談支援

・二宮町保健センターに在宅医療・介護連携に関する相談窓口として連携支援センターにおいて専門職への相談支援を実施

3 生活支援体制整備事業

●第 1 層協議体（お互いさま推進協議会）

・全 4 回中 3 回を開催（次回 2 月末予定）

・地域の通いの場等、地域活動の情報発信や見守りガイド（詳細は下記記載）の内容について意見交換を実施

●第 2 層協議体（地域の協議体）

・一色小学校区「いちふく」と二宮小学校区「クローバーの笑・和・輪」、山西小学校区「たんぽぽささえたい」が各 3 回開催。

地域の担い手を創出するため、様々な地域の活動を知りつながりを作っていくことについて意見交換を行った。

●見守りガイドブック

・高齢者が住み慣れた地域で安心・安全な自立した生活を継続可能とするために必要な、地域による見守りや気づきの重要さの意識を向上させるために、ガイドブックを作成。お互いさま推進協議会において意見交換を行った。（今年度中に完成・配布予定）

●福祉有償運送運転者講習会

・12 月 21、22 日に生涯学習センターラディアンにおいて開催し、11 名が参加した。NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワークによる他市町村での移動サービス事例紹介や車両運転等の実技講習の他、今年度から新たに参加者同士で移動支援を検討するグループワークを行った。

4 認知症総合支援事業】 ※下記実績件数は12月末時点

●初期集中支援推進事業

- ・認知症初期集中支援チーム対応 0件

●地域支援・ケア向上事業

- ・認知症総合相談延べ件数 73件
- ・にのんカフェ（認知症カフェ）の開催 9回
- ・認知症サポーター養成講座開催 14回
- ・認知症サポーターのつどい 4回
- ・行方不明SOS登録者に見守りキーホルダー配布 10名
- ・認知症本人大使である丹野智文氏による、認知症への理解普及のための講演会を開催。
併せて、認知症当事者同士による本人ミーティングを初開催。
- ・9月の世界アルツハイマー月間に、図書館のTwitterにおいて認知症関連図書を紹介を行ったほか、地域包括支援センターのインターンシップ実習生協力のもと、役場庁舎に特設コーナーを設置
- ・ともしびショップで認知症予防メニューの提供

5 任意事業

●介護サービス相談員派遣事業

事業所訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、相談員定例会を12月から再開した。

●介護給付費適正化事業

- ・住宅改修等の点検・医療情報との突合、縦覧点検

●成年後見制度利用支援事業

- ・後見人等への報酬助成1件
- ・町長申立て1件

●シルバー緊急通報システム事業補助金（12月末時点設置状況190名）

町社会福祉協議会の事業実施にあたり補助金を交付。7月より、設置に電話回線を必要としない等機能向上を目的とした、新機種への切替を実施した。